

浜松市遺族会の市長表敬訪問について

浜松市遺族会が発行した「浜松戦争遺跡～後世に残したい無言の語り部たち～」冊子の完成報告のため、浜松市遺族会及び一般社団法人浜松市戦没者追悼平和推進協会が市長を表敬訪問します。

1 日時 令和6年4月18日（木）13時45分から14時00分まで

2 会場 浜松市役所本館5階 市長室

3 訪問者 浜松市遺族会
会長 大石 功（おおいし いさお）

一般社団法人 浜松市戦没者追悼平和推進協会
代表理事 飯田 末夫（いいた すえお）

4 冊子「浜松戦争遺跡～後世に残したい無言の語り部たち～」について

- ・浜松市遺族会の、語り部活動や戦跡の記録を通じて戦争の悲惨さや平和の尊さを未来に継承していく活動の一環として、冊子「浜松戦争遺跡～後世に残したい無言の語り部たち～」発刊。
- ・戦争遺跡は、戦争の痕跡や戦禍を物語る場所であり、戦争のために造られた施設や戦争で被害を受けた建物など、後世に伝えることで歴史の生きた教材となるもの。
- ・戦争体験者の減少とともに、戦争の記憶を語り継ぐ語り部が「ひと」から「もの」へと移行し、戦争遺跡の保存や活用の必要性が高まっている。